

阪堺線（堺市内区間）の今後の支援の方向性について

併用軌道区間の軌道改修が概ね完了し、安全性の確保が図られているが、安全性を継続的に向上していく必要がある



今後は専用軌道を中心に老朽化対策を継続し、阪堺線（堺市内区間）の更なる安全性向上をめざす。

支援策による利用者増加や阪堺電軌の自助努力により、収支改善は図られているが、阪堺線（堺市内区間）の早期の自立・再生を図る必要がある。



阪堺電軌の更なる自助努力を促しながら、阪堺線（堺市内区間）の早期の自立・再生をめざす。

支援策の効果で、阪堺線沿線の沿線活性化に一定寄与しているが、支援効果を沿線だけでなく、市全体に波及させる必要がある。



関連施策との連携や協働を推進し、市全体への効果の波及をめざす。